

神は曲がった線を用いてまっすぐに書く(下)

Q²メッセージ6：

トランプは、今度はどうして脱するか？

彼らは本当に、彼の短い髪をつかんでいる。

トランプは、本音は、平和愛好者である。

彼の就任演説は、彼の最も心底の意図を、豊富に語っている。

しかし彼は、“深層国家”の力を過小評価していた。

トランプはまた、自分が契約書にサインしなければならないことを、理解していなかった。

米政府有限会社の重役として、あらゆる米大統領が宣誓する前にサインする契約書に、彼はサインするよう強制された。

大統領候補者は、前任の大統領、副大統領などを、告訴しない約束をするだけでなく、多くの他の、芳しくないことに、合意することになっている。

どんなことでもこの契約に違反すれば、死罪か…もっと悪いことになる。[エンドノート参照]

これこそトランプが、大統領執務室に入るやいなや、見事に豹変した理由である。

地球上のどんな人間も、“影の政府”の命令に逆らうことはできない。

ここは市役所ではない、米連邦政府なのだ。

そこで、彼に何ができるか？

メッセージ6の終わり――

Q²メッセージ7：

トランプは、もし自分が戦争を始めたら、基盤を失うことを知っている。

どんな戦争でも、やったらおしまいだ。

彼の支持者は、平和メーカーに投票したのであって、戦争メーカーに投票したのではない。

もし彼が、現在の道をそのまま進むなら、彼の任期はこれで終わる。

トランプは、左翼と右翼を同時に相手にして戦うことはできない。

もし自分の基盤を裏切れば、彼は決して再選されないだろう。

もし彼が、もう一度、間違った方向へミサイルを放つなら、彼は終わりだ。

トランプはそれを知っている。

彼の愛国者チームはそれを知っている。善人はそれを知っている。
彼を操る者たちもそれを知っているが、彼らはそんなことを気にしない…。
トランプは使い捨て可能である——彼らはペンスを彼のすぐ後に置いたからだ。
ペンスは、彼が手を付けたどんな戦争をも遂行するだろう。
トランプはそれを知っている。
これこそ彼が、岩壁と難所の間に挟まれている理由である。

メッセージ7の終わり——

Q²メッセージ8：

イスラエルが、トランプを大統領職につけただけだが、だからといって、それが現代の奇跡でない、ということにはならない。
結局のところ、「**神は、曲がった線を用いてまっすぐに書く**」。
そうだ、ひどく曲がっているのはイスラエルなのだ。
トランプは、ある権力支配者と銀行家の助けがなければ、ここまで成功することはなかったであろう。
それがなければ、どうして彼が勝利できたであろう？
イスラエルが知ることもなしに、ホワイトハウスでは何も起こらない。
実際に、ネオコン・シオニストたちは、大統領によるどんな行動も、あらかじめ知っている。
それが、ケネディ以来、起こっていることである。
そしてこれこそ、あらゆる大統領が、契約書に署名しなければならない理由である。
彼らは、もう一人の JFK を望まない。そして、そこにはトランプも含まれている。
ということは、トランプはやがて、彼の選挙公約を、破る決定をせざるを得なくなるということである。
戦争屋たちが急速、集まって、深刻な使命に取り掛かるだろう。

メッセージ8の終わり——

Q²メッセージ9：

2018年春は、彼らが大戦争を引き起こす、選ばれた時期のように思える。
戦争屋たちは今、武力を開いた状態にしている。
イラク戦争の時ように、今、同じ臆病タカたちが、大きな声で鳴いている。
最初、彼らは“左翼”とメディアを利用し、ロシアとの戦争を扇動した。
その前には、彼らは“右翼”を利用して、イラクに対する戦争を推し進めた。

その間ずっと、シオニストたちは、シリアに対して終末論的戦争を仕掛けた。
北朝鮮が、危険な体制の混成体の中に投げ込まれた。
同じネオコン・シオニスト戦争屋たちが、新しい「悪の枢軸」をでっちあげさせた。
トランプ自身が、「イラン、北朝鮮、それにシリア」を、人類の最大の敵として、喧伝する
のに利用された。
今、彼は、彼の虚偽の空疎な宣言に基づいて、行動することを期待されている。
彼は何をするつもりだろうか？
もし彼が、選挙で選ばれる理由となった、中心の約束を破るならば、彼は終わりである。
不幸なことに、ポルトンの任命は、トランプがゆすられていることを証明している。
他の多くの最近の任命も、同じことを指している。
これらの悪役たちは、ある特別の理由で、舞台の中心にいる。
彼らの一人ひとり、トランプを庇うために利用されるだろう。
彼らは、戦争を始める決定をしたのは彼ではないと、我々に語るだろう。
それは、彼のトップ・アドバイザーと軍高級官僚の、最善の忠告なのだというだろう。
そして、彼が、アメリカを戦争に導くように、いかに利用されたかということも。
果たしてトランプが、別方向からの軍鼓の音に従って、行進するか否かは、まだわからない。

メッセージ9の終わり――

Q²メッセージ10：

トランプの Omnibus Bill への署名は、ゆすりが行われているもう一つの例である。
議会による性急な承認もまた、彼らも同様に、すべて賄賂をもらい、ゆすられていることを
示している。
なぜトランプは、これほど沢山のうまい汁のついた、2232 頁を費やした法案に、署名をし
たのだろうか？
1兆3000億ドルとは！！
そして誰一人として、投票前にそれを読む時間さえ、与えられなかった。
議会は、「72時間透明ルール」を、初めて破った。
彼らは、ネット上に法案全体を掲載さえしなかった。
これは、これ以上あり得ない賄賂とゆすりである。しかも…
(数行省略)

メッセージ10の終わり――



大統領はゆすりに弱い
か？

最低限言えることは、ドナルド・トランプ大統領が、疑いもなく、ゆすりと強要に弱いということである。この危険な弱点は、明らかに、トランプのアキレス腱である。それはまた、彼が、2016年に勝利を許された理由でもある。

SOTNはこの厳しい現実を、去る1月にここに書いた：「“ストーミー・ダニエルズ”心理作戦：なぜ今か、誰が背後にいるのか？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=92856>

現在の状況は、ちょっと見たよりも、はるかに深刻である。世界は、これを書いている間にも、第3次大戦に向って準備が進んでいる。今、すべてのアメリカ人は、確信をもち、慎重に緊急に、もう一つのネオコン・シオニスト戦争を防止するために、行動しなければならない。

あらゆる人が真剣に考えねばならない——「トランプはゆすられている」ことを。

これが確かな事実であるならば、トランプはこれまで以上に、“我々人民”の助けを必要としている。彼は単独でこれをやることはできない。アメリカ共和国は、アメリカ人民によってのみ救われる。トランプはすでに、歴史上の誰よりも、アメリカ市民を解放するために努力してきた。

アメリカ人民だけが、アメリカの戦争機械を食い止めることができる——1960年代の平和運動のように、1970年代の反戦抗議のように。実は、ベトナム戦争は、民衆の運動によって終わらせた、歴史に記録された、最初の戦争だった。

動き出そうではないか！

エンドノート：

ジョン・F・ケネディ大統領以降、すべての米大統領が署名している契約に関する、抜き書き――

「彼らは、トランプに、一つの念書を書かせるところまでいこう。彼らに、それは可能であり、どんなやり方でも実行するだろう。その契約書には、いかなる元大統領をも、戦争犯罪や、他のどんな重い犯罪や不始末によっても、起訴しないという、厳重な約束が含まれている。現実問題として、JFK 以後のすべての大統領は、そのような契約に署名するよう強制されており、これを破れば死ぬことになっている。

さらに、彼の契約書によれば、ドナルド・トランプは、“影の世界政府”の命令に従うことに合意を求められていて、大統領としての諸々の妥協が、すぐにも――就任後ただちに、厳格に――始まることになっていた。言い換えると、彼の最大の選挙公約は、そんなものは存在しなかったかのように、破られ、忘れられるようになっていた。（ソース：「ドナルド・トランプは深刻な苦境にある…もし彼が本当に正気であるならば」
<http://stateofthenation2012.com/?p=22842>

――以上